

印刷

閉じる

| ステアリングコラム 電動パワーステアリングシステム ダイアグコード点検／消去 |

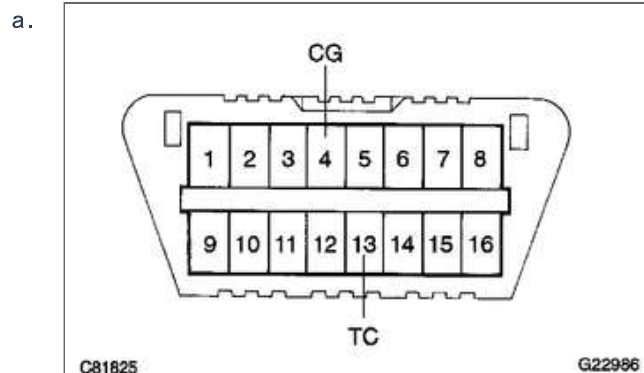
ダイアグノーシスコード読み取り(TaSCAN使用)

- a. IG OFFにする。
- b. SST(TaSCAN)をDLC3コネクタに接続する。
SST
09991-70200
- c. IG ONにする。
- d. SST(TaSCAN)の表示画面に従って、ダイアグノーシスコードを読み取る。

注意：

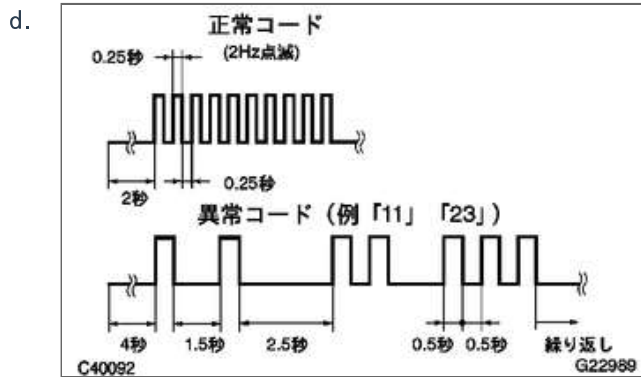
異常がある場合は、修理後、再度ダイアグノーシスコードを点検し、異常コードが出力されないことを確認する。

ダイアグノーシスコード読み取り(DLC3短絡)



- a. IG OFFにする。
- b. SSTを使用して、DLC3コネクタの13(TC)←→4(CG)端子間を短絡させる。
SST
09843-18040

注意：
コネクタの接続位置を間違えると故障の原因となるため、絶対に間違えない。
- c. IG ONにする。



コンビネーションメータの‘P/Sウォーニングランプ’の点滅回数を読み取る。

参考：

- ・ 正常な場合は0.25秒点灯、0.25秒消灯(2Hz点滅)を繰り返す。
- ・ 異常コードが1つの場合、同一コードが4秒間隔で表示される。異常コードが複数の場合は、異なるコードが2.5秒間隔で表示され、一巡すると4秒後に再度出力される。
- ・ 複数のコードが出力される場合は、コード番号の小さいものから出力される。

e. DLC3コネクターの13(TC)←→4(CG)端子間を解放する。

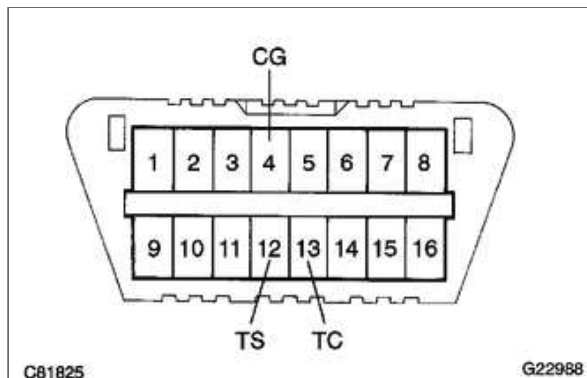
注意：

異常がある場合は、修理後、再度ダイアグノーシスコードを点検し、異常コードが出力されないことを確認する。

ダイアグノーシスコード記憶消去(TaSCAN使用)

- IG OFFにする。
- SST(TaSCAN)をDLC3に接続する。
SST
09991-70200
- IG ONにする。
- SST(TaSCAN)の表示画面に従って、ダイアグノーシスコードを消去する。

ダイアグノーシスコード記憶消去(DLC3短絡)



- a. IG OFFにする。
- b. SSTを使用して、DLC3コネクタの12(TS)←→4(CG)端子間を短絡した状態で、IG ONにして、13(TC)←→4(CG)端子間を8秒間に4回以上短絡←→解放を繰り返す。

SST

09843-18040

注意：

- ・ コネクタの接続位置を間違えると故障の原因となるため、絶対に間違えない。
- ・ ダイアグノーシスコード記憶消去は、車両停車中に行う。

© 2012 TOYOTA MOTOR CORPORATION. All Rights Reserved.